



平成27年度在宅医療・介護連携推進事業
佐世保市における在宅医療・介護連携推進のための多職種研修会
アンケート集計結果

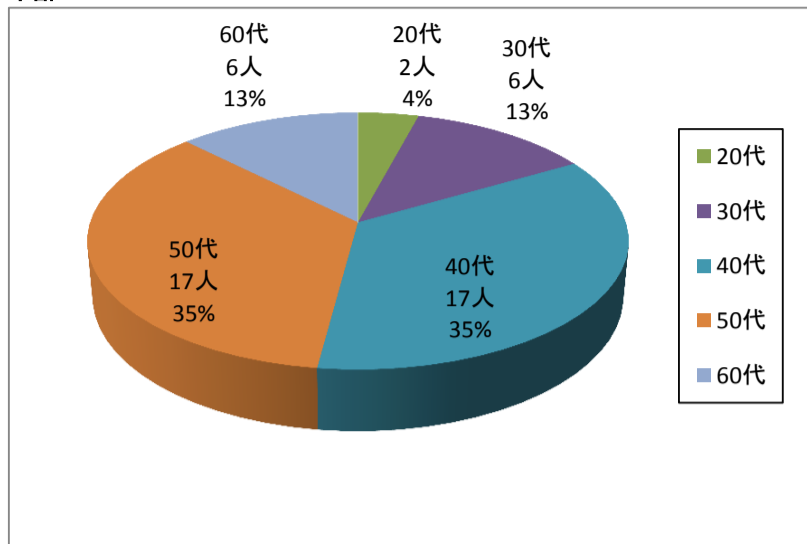


参加人数	71名
アンケート回収数	48名

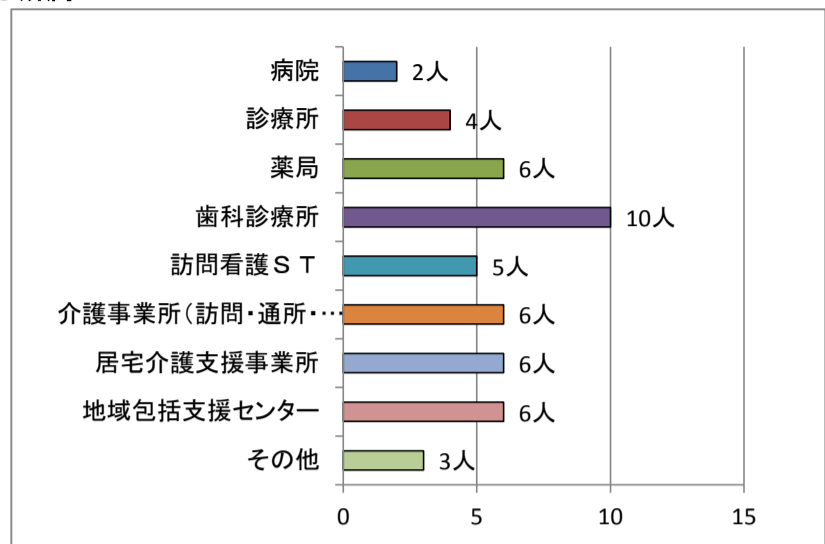
平成27年11月8日（日）17:00～19:00佐世保医師会館 大講堂

1 参加者属性

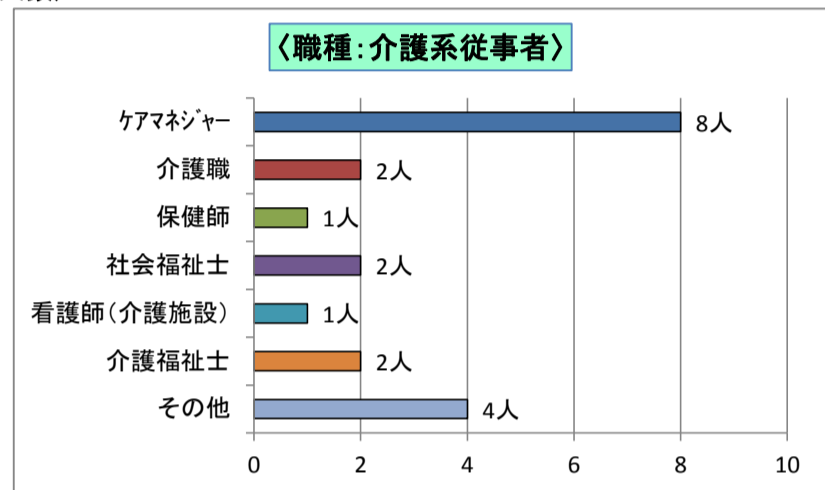
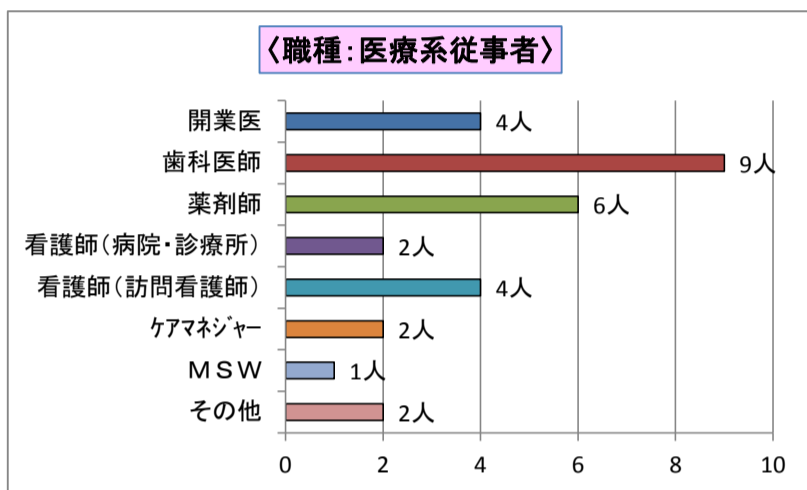
●年齢



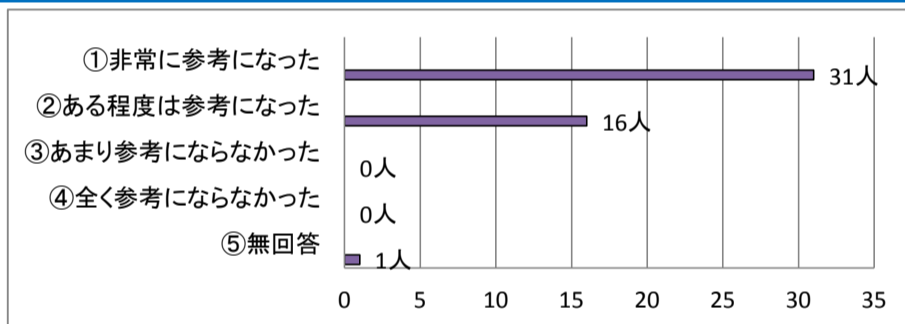
●所属



●職種(延べ人数)



2 講演①「在宅医療における歯科医師の役割」は参考になりましたか？

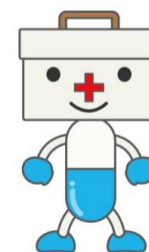
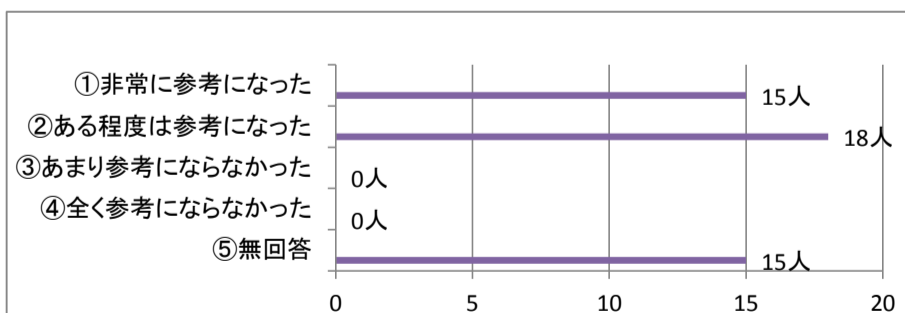


※回答者全員が参考になったと感じている。

ご意見・ご感想などご自由にお書きください

- 肺炎予防のための口腔ケアの重要性、勉強になった。
- 夜間の誤嚥、勉強になった。
- 今後団塊の世代の方が80歳を迎える頃には、自歯を持っている方が増えてくる、歯科医師の役割、口腔内環境を整える事が大切になってくると思う。
- 療養病棟に入院中の高齢の患者さんの歯の状態を見て、以前から改善又は口中の環境の悪化を防げないかと思っていた。看護スタッフがケアを行っているが、時間も技術(機材・道具など)も不足している。今回は、口腔環境と健康・運動機能の関連性を知ることができ、今後機会をみて職場で提案していけたらと思った。
- 在宅・要介護者の歯科疾患への現状と課題は合ったが、そのための対策としてもう少し詳しく知りたかった。
- 以前訪問歯科診療をお願いしたが、「自力で退院できない人しか診れない」と、認知症で要介護の人を断られた。歯科医師の間でも条文の解釈が統一されておらず、歩ける＝通院できる人ではない、歯科医師会で再度統一をして欲しい。

3 講演②「薬剤師が行っている在宅医療の現状と課題について」は参考になりましたか？

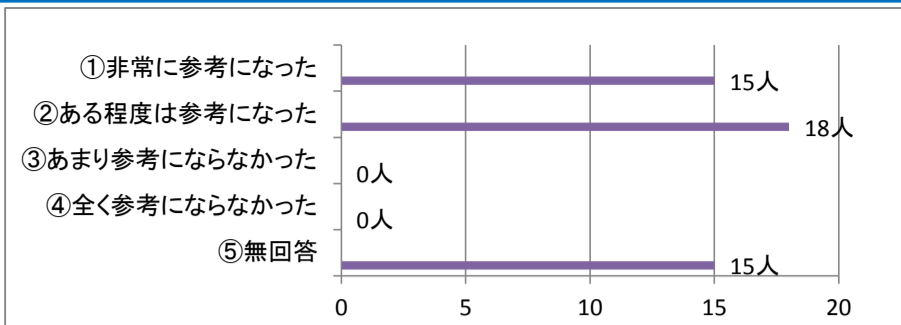


※回答者全員が参考になったと感じている。

ご意見・ご感想などご自由にお書きください

- 歯科との連携必要。
- 勉強不足だが、薬剤師の在宅というものを初めて知った。
- 仕事の中で、薬剤師との関わりがほとんどないが、今日の話を聞き医師との連携をとるように薬剤師との関わりが持てたらと思った。
- 意欲のある薬剤師さんの協力だけで現在頑張っておられるが、もっと行政指導・サポートで協力していただければと期待している。
- ADLが自立、認知症が有る方の薬管理の対応を考えていただきたい。
- 高齢者の方など、お薬がたくさん余っている方は、どれをいつ飲むのかわからない方が現状は多くおられる。ヘルパー対応が多く是非活躍してほしい。

4 パネルディスカッション「地域医療を担う多職種連携の課題」は参考になりましたか？



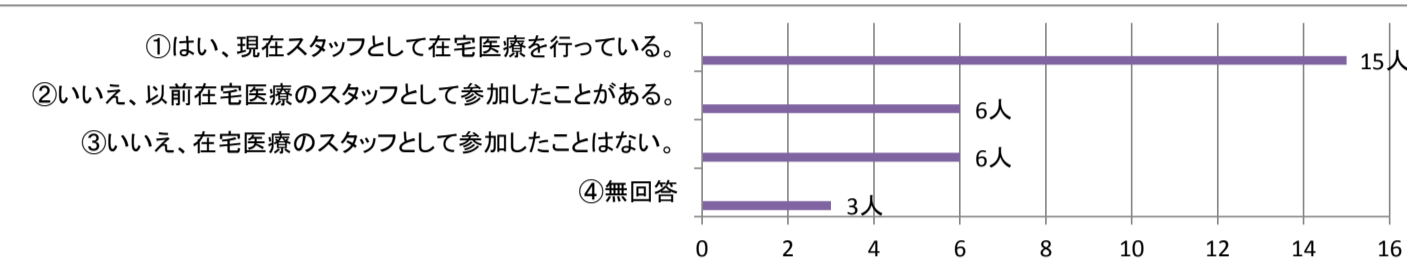
※回答者全員が参考になったと感じている。

5 パネルディスカッションで参考になった点、ご自身の拠点の取り組みに活かせると思った内容等をご自由にお書きください。

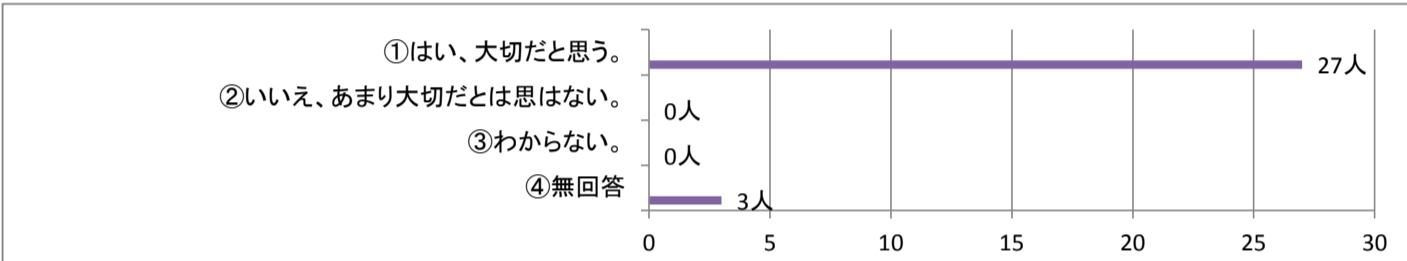
- 多職種連携の必要性を理解したい。
- 連携の必要性を改めて感じた。
- 在宅への要望があった場合、すぐに動けるようにしなければならないと思った。

6 医療系従事者の方へお伺いします。

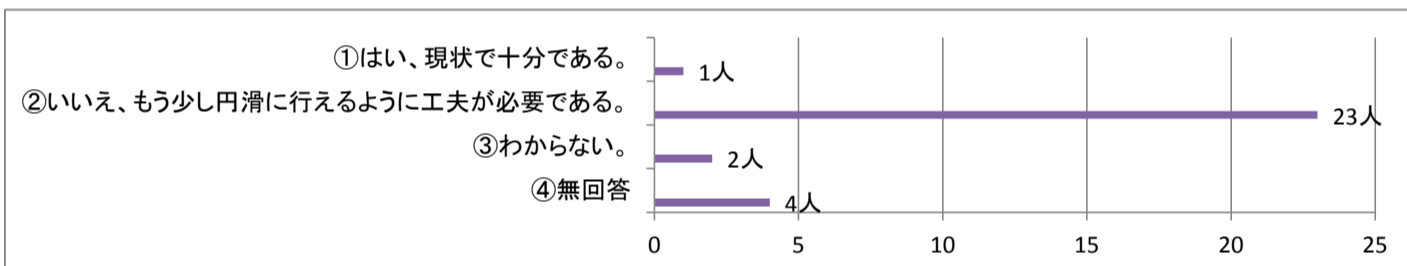
【1】在宅医療に現在スタッフとして参加されていますか？



【2】在宅医療を行うにあたり、介護職員との連携は大切だと思いますか？



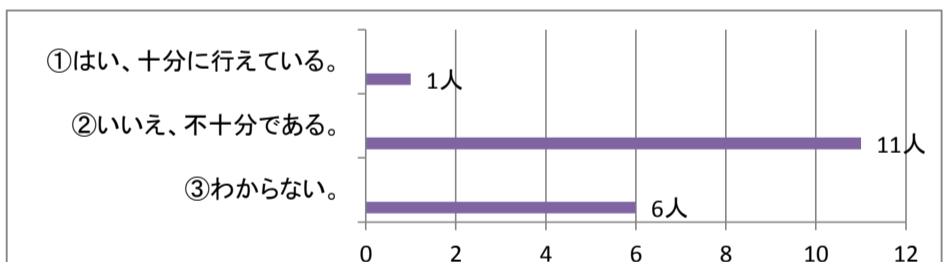
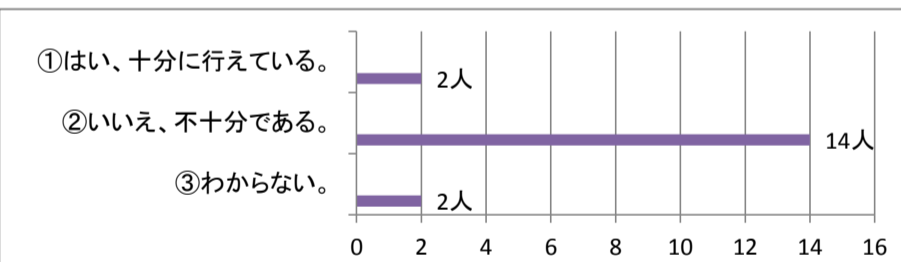
【3】現在、在宅医療を行うにあたり、多職種連携が円滑に行えていると思いますか？



※在宅医療を行うにあたり、介護職員との連携が大切であり、かつ、多職種との連携が円滑に行えるよう工夫が必要と思っている。

7 介護系従事者の方へお伺いします。

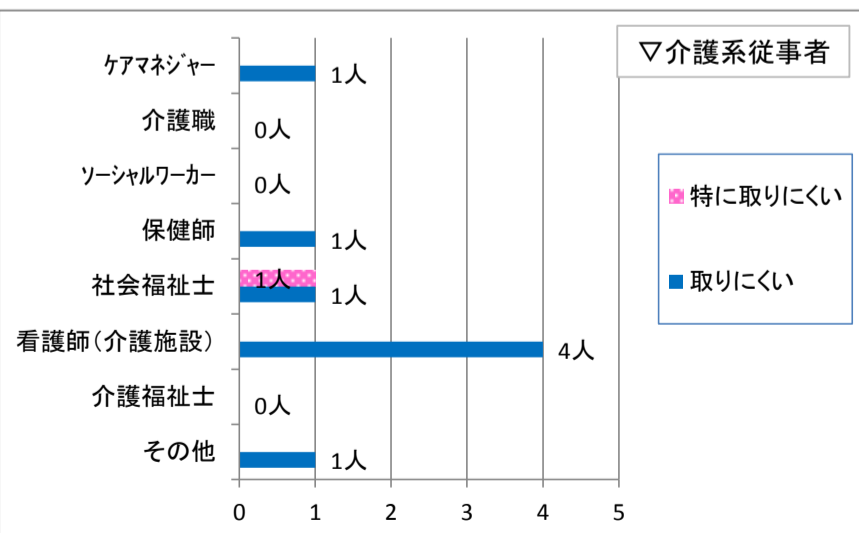
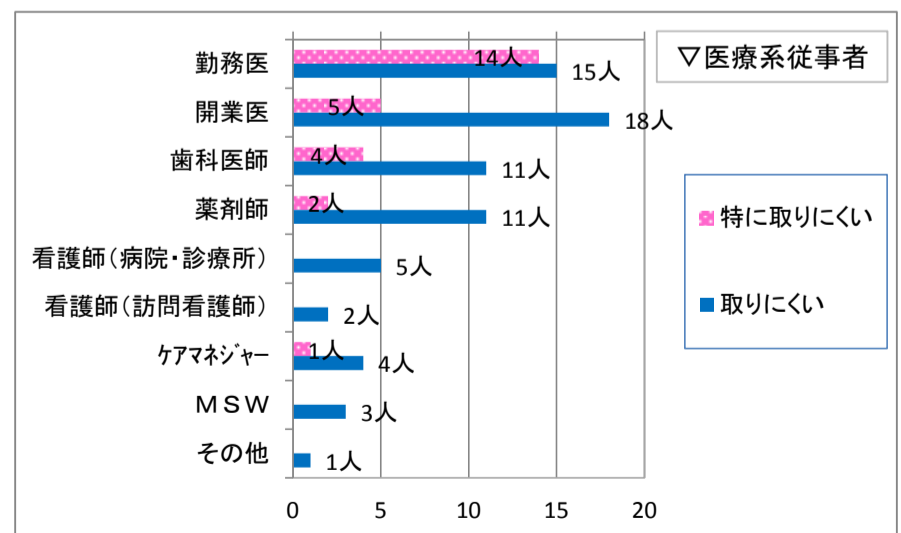
【1】利用者について医療従事者との情報交換の機会は十分だと思いますか？ 【2】利用者のケア状況について、多職種との情報共有は円滑に行えていると思いますか？



※在宅医療を行うにあたり、医療従事者との情報交換や情報共有が不十分であると思っている。

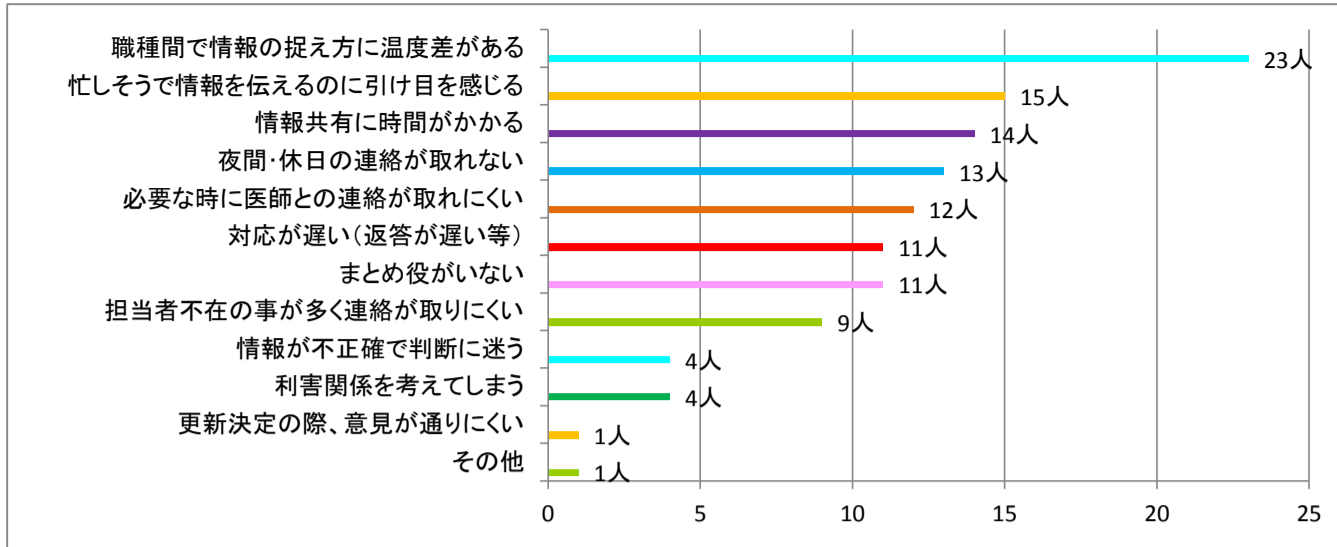
8 みなさんへお伺いします。

【1】在宅医療を行うにあたり、連携を取りにくい職種はどれですか？該当するものすべてに○を付けてください。特に連携を取りにくい職種は◎(二重丸)を付けてください。



※勤務医・開業医との連携が取りにくい(約42%)特に連携が取りにくい(約70%)と答えている。

【2】多職種間の連携を行うにあたり、課題に感じることは何ですか？該当するものに○を付けてください。（複数回答可）



※多職種連携を行うにあたり、特に職種間で情報の捉え方に温度差があると感じている。

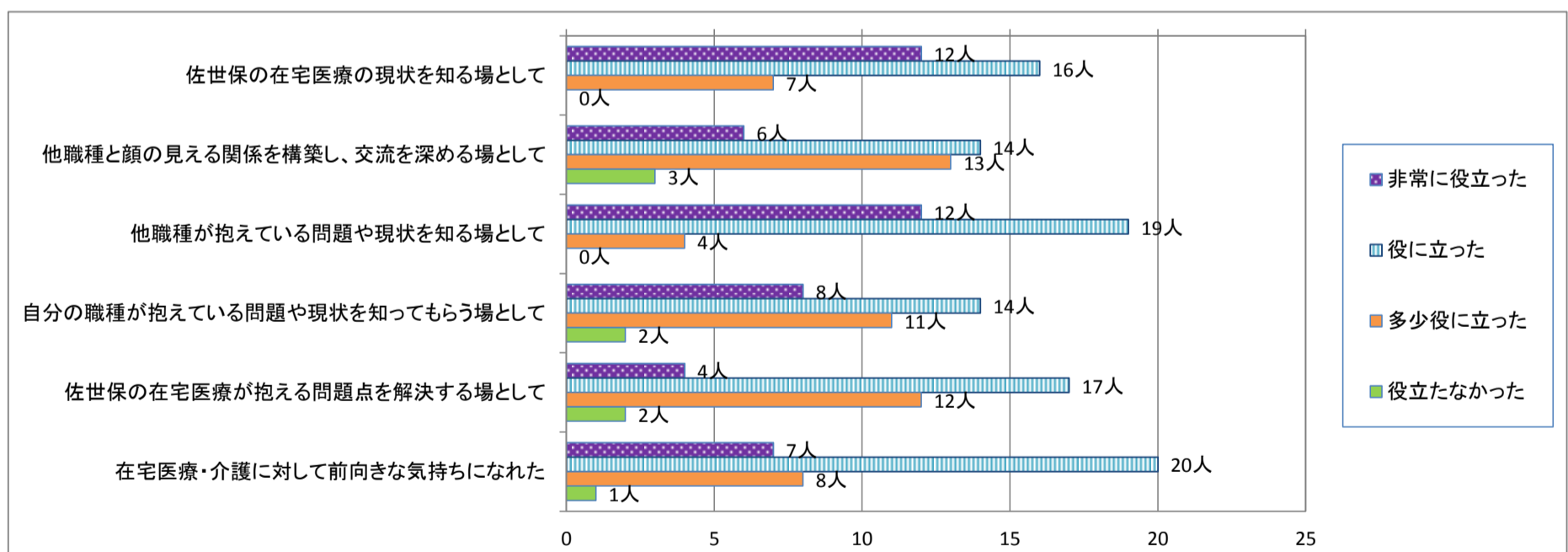
【3】 8・【2】の課題の他に、困っている事や課題に感じることはありませんでしたら、ご記入ください。

- 歯科医や薬剤師が在宅で活動しようとしても、医師や家族等からの要請がないとできないため、需要や必要性は多いと思うが、実質的に動いていない。
- 医師が口腔ケアに興味が無い。
- 主治医が忙しく連携が困難。また、問題の意識が違い、温度差をすごく感じる。
- 薬剤師の訪問指導は認知症診断があれば積極的に主治医の指示を出していただきたいと思う。
- 主治医覚書を2ヶ月前から依頼できるようになったが、一部のDrが遅いため情報開示の(認定調査等の分)をプランに活かせない。コピー(市で)をもらえるが1週間を要する。主治医覚書のコピーを以前のように出してもらえる様にならないのか。
- 情報共有、連絡、調整に日々追われている状況で、ICT化の推進を行い入力された内容がいつでもどこでも共有できるシステムが佐世保市で構築できればと思う。
- あじさいネットの有効活用。
- お互いの専門職種の業務内容や取組など知ることができ、今回の発表会・研修は効果的と感じた。
- 利用者一人を取り巻く場合の連携は比較的スムーズであるが、家族内に支援者が複数名いらっしゃる場合(障がい者・要介護者等)コーディネートする側も複数名で対応するため、家族全体をコーディネートできていないことがある。
- 多職種が関わっている部分(連携)は良いが、関わりが無い部分をフォローしてくれる団体等がないため在宅を支えるのが難しく、ボランティアなど安価で提供してくれる団体や人を増やして欲しい。例えば、「独居」「身内は県外」「親戚関わりない」「介護保険では限界有」など、在宅では保険外の事を早く整備して欲しい。見守りがあと少しあればもう少し独居が続けられる。しかし、それが不足しているため施設入所へとなってしまい残念なことが起きている。
- ケアマネが介護福祉士、訪問の仕事ではないことを法制化するべきと思う。在宅に向けた具体的に整備してほしい。

9 今後、多職種研修会で取り上げてほしいテーマや医師会として開催して欲しい研修会等がございましたら教えてください。次回、研修会の参考といたします。

- 患者様の意見を聞いてみたい。
- 他地区の、多職種連携がうまくできている実践例を提示してほしい。
- 具体的な連携の道程を示して欲しい。
- 訪問介護と医師との連携の方法。
- 自宅で死ぬこと、看取りについて。
- 在宅の看取りに向けた連携。

10 本日の多職種研修会が、今後、ご自身の拠点の活動を進める上で、どのくらい役に立ちましたか？以下の項目ごとに、1~4のうち当てはまる番号に○をつけてください。



※項目全体の約96%が多職種研修会に参加して役に立つと答えている。

11 本日の研修会全体に関してご意見または運営面・内容面等で改善した方がよい点、事務局で検討した方がよい点がありましたらご自由にお書きください。

- 歯科医師であるが、他職種からの要望・意見・悪口をもっと聞き、対応していきたいと思う。
- 歯科・薬剤師だけが体制を整えても、地域包括ケアシステムの構築は実現しないと思う。
- 講演の時間が短くもう少し詳しく聞きたかった。全体に時間が足りない。
- 出席の数が少ないのが残念。先生方の勤務のこともあると思うが、もう少し在宅に関わる方が出席する、よい時間や日時を検討してほしいと思う。
- パネルディスカッションを行うには人数が多く時間設定も短く、要点が絞られていなかった為不完全燃焼ではなかったかと思う。